



クラブ訪問

250

「礼儀を大切に心も磨く」

無門塾成田

私たち「無門塾成田」は、小学1～5年生の7人で、毎週月曜日に新山小学校の体育館で活動する空手クラブです。

稽古は、準備運動で体を温めた後、形の練習から始まります。形は、身を守るための攻防を連続の動作にまとめたもので、繰り返しの練習で体に覚え込ませます。そうすることで体が自然に動き、あらゆる場面に対応できるようになります。突き



気合を入れて「エイ！」



基本を意識して



おおすか はるき 大須賀 春希さん(5年生・左)
おおすか こうき 大須賀 煌希さん(4年生・右)

僕たち兄弟は幼稚園の時に空手に興味を持って習い始めました。年の離れた人たちと一緒に技を磨けるのが楽しいです。

や蹴りなどの動作も反復練習を行い、最後は技を掛け合う組手で実力を試しています。クラブが目指しているのは、人として成長すること。そのために礼儀正しく練習することが大切だといわれています。道場訓でも「礼儀を重んずること」とされています。高校生や社会人も一緒に稽古を行うので、先生だけでなく年上の人が教えてくれることもあります。礼儀を意識すると、教えてくれる人には敬意を払い、年下の子には思いやりを持って接することができるので、自分の技だけでなく心の成長にもつながっています。

新しい形の習得は難しく時間がかかることなので、稽古のない日でも自宅できこつこつと練習するようにしています。簡単には強くなれないのも空手の面白いところ。今月は昇段審査が控えているので、礼儀を忘れず頑張りたいです。

なかまと一緒に

248

「創作を楽しむ伝統工芸」

毬の会



完成品のイメージを話し合いながら



複雑で繊細な柄の作品



仲間とつなぐ手まりの魅力

私たち「毬まの会」は毎月第1・3金曜日に豊住公民館で活動している手まり作りのサークルです。

手まりは日本で古くから親しまれてきた遊び道具で、現在は伝統工芸としても技術が引き継がれています。公民館主催の教室をきっかけに活動を始めた私たちのサークルでは、先生が毎回の活動に参加してくれるため、手本となる作品を見たり、アドバイスをもらったりしながら作業を進めることができます。また、細かい作業が多いですが、特別な経験や技術は不要のため、完成品をイメージする想像力と根気があれば誰でも楽しむことができます。

作業は、初めに球状の発泡スチロールに刺しゅうの土台となる木綿糸をぐるぐると巻き付け、その上から自分の作りたい模様に合わせて下書きとなる付け縫いを行います。その後、色や太さ、光沢が異なる複数の糸を縫い付けて、季節の花に見立てた柄や幾何学模様などを表現していきます。完成品の大きさは、握りこぶし程度から手のひらサイズの物までさまざま。難易度は大きさよりもデザインの詳細さが影響していて、慣れているメンバーは幾重にも刺しゅうを行うことで複雑な柄が描けます。

伝統的なデザインだけでなく、応用すれば自分で創作することができるのも手まり作りの魅力です。完成品を想像して楽しみ、自分の手で作って楽しみ、飾って楽しめる手まり。これからも仲間と一緒に伝統工芸を引き継いでいきます。

スクスクのびのび



さわや はると
澤谷 晴翔くん

ミニカーが大好きで寝る時も出かける時も両手に握りしめています☆



いしだ かの
石田 楓乃ちゃん

晴れた日はお外でかけっこして遊ぶのが大好き!!



おおいし まいこ
大石 眞惟子ちゃん

ひいおじいちゃんのお庭のサザンカと一緒に♪

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字以内のコメントを郵送またはEメールで広報課へ
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
広報課 ☎20-1503

○応募先

○問い合わせ先

512